

## 北朝鮮の3度目の核実験に抗議する

2013年2月14日

核戦争に反対する医師の会  
代表世話人 中川武夫  
代表世話人 山上 紘  
代表世話人 原 和人

北朝鮮は12日、同国北東部の豊溪里で2006年、09年に続いて3度目の核実験を行った。広島と長崎への原爆投下で20万人を超える市民の命を奪われ、いまなお原爆放射線による後障害に苦しむ多くの被爆者が存在する日本の医師の団体として、同国の核実験に強く抗議する。われわれは、いかなる核兵器の開発・実験・配備・使用に断固反対するものである。

同国の核実験は、「核実験またはいかなる挑発もこれ以上実施しない」ことを求めた国連安保理の2087決議に違反する。同国に影響力を持つとされる中国も「再度の核実験に断固反対する」との声明を出した。北朝鮮は今後も米国が敵対的な姿勢を続ければ、「より強度の高い2次、3次対応を取らざるを得ない」と発表した。核兵器およびこれを運搬する「ロケット」の開発を続けることは、国際的な孤立を深めるだけである。

同国の核実験に対して日本では、北朝鮮幹部の再入国禁止対象を拡大する措置を決定し、独自制裁の強化に動き出した。日本政府は憲法が禁じる集団的自衛権を認め、米軍と自衛隊との共同行動を狙っている。しかし軍事的な措置で互いに対抗し合うことは、危機を深刻化させるだけである。

いま求められていることは、あらゆる国が北朝鮮との話し合いの場を探り、6カ国協議なども通じて同国との対話を開始して外交的・平和的に事態を解決することである。唯一の被爆国である日本の政府には、核兵器と核実験の全面禁止を提唱し、問題解決の先頭に立つことを要求する。

以上